

教科	工業	科目名	プログラミング技術	単位数	2
学科	電子工学	学年	3 学年	履修区分	選択
使用教科書	プログラミング技術（実教出版）				
副教材など					

### 1. 科目の目的

基礎をしっかりと固めてから、アルゴリズムの理解を中心に実践的なプログラミングを学びます。  
基本情報技術者に対応できる内容とします。

### 2. 授業の内容と進め方

- ・教科書を用いて勉強し、その後パソコン室にて実際にプログラムをして学びます。
- ・基本情報技術者の過去問題も多く取り上げます。

### 3. 学習する上での留意点

- ・授業中の話をよく聞き、ノートをしっかりとる。
- ・パソコン室で実際にプログラムを行い知識の定着をはかる。

### 4. 課題等について

- ・適宜プリント等を課題として利用し、学習の定着を図ります。

### 5. 成績評価規準(評価の観点及び趣旨)

評価の観点	評価規準
知識・技術	プログラミングに関する基礎的な知識と技術を身につけているか。 実際にプログラムを作成する能力と実践的な態度が身につけているか。
思考・判断・表現	アルゴリズムを考え、簡潔で分かりやすい処理手順を考えるなど創意工夫する能力を身につけているか。
主体的に学習に取り組む態度	プログラミングに関心を持ち、具体的なプログラムに対して創造的で実践的な態度を身につけているか。

### 6. 評価の方法

定期考査、授業態度、ノートや課題から総合的に評価する。

《指導計画》 科目名 プログラミング技術

3 学年

2 単位

学期	月	学習内容 (単元・考査等)	学習のねらい	評価方法等
一 学 期	4	1章 コンピュータによる問題処理手順 1-1システム開発とプログラムの作成 1-2 文書化 1-3 OSとプログラム言語 1-4 目的プログラムと翻訳プログラム	プログラミングに必要な基礎知識の確認をします。	行動観察 質疑応答
	5	2章 プログラミング技法 2-1 基本的なプログラム ① Cの基本的な知識② 入出力③ 演算子 2-2 プログラミングの制御構造	プログラミングの基本である、三つの基本制御構造を確実に理解します。コンピュータ室で実習をし、より実践的に学びます。	中間考査
	6	① 条件分岐 ② 繰り返し		
	7			期末考査
	9	2-3 配列 ① 配列の基本 2-4 関数 ① 関数の概念	Cプログラミングの基本である、配列および関数について、徹底的に、実践的に学びます。	行動観察 質疑応答
	10	② 関数の基本		中間考査
	11			
二 学 期	12			期末考査
	1	情報技術検定2級過去問の練習および演習	情報技術検定2級に合格できるよう過去問を実際に解いて、そして実際に動かして理解を深めます。	行動観察 質疑応答
	2			
三 学 期	3			学年末考査